

高等学校・授業展開例②

- 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）
 それぞれの性のあり方の多様性について知り、自分自身の価値観を見つめなおし、他者の多様なあり方について理解するとともに、その支援について知る。
 - ・関連する個別の人権課題：性的指向・性自認
- 関連する教科等
 - ・特別活動 ホームルーム活動
 内容（２） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 （ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）
 - ・公民 公共
 内容 A 公共の扉 （１） 公共的な空間を作る私たち
- 具体的な活用場面
 - ・新入生が学校生活に慣れてきた時期
 - ・配慮を要する場面の事前指導（健康診断、宿泊行事 等）
- 展開

時間	学習活動 発問（T） 生徒の反応例（S）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
導入 5分	1 自分だけの秘密にしていることについて考える。 T 簡単には人には言えない自分の大切なことを、どういう人になら相談できるとするか考えてみましょう。 S 親 S 信頼している人 S 秘密を絶対に守ってくれると思う人 S 相談できる人はいない T 自分自身は相談してもらえる人にあてはまると思いますか。 S 思わない S 相談してもらえそうな人になりたい	・ワークシートを配布する。 ・ワークシート①に記入させる。 ・自分の中で秘密にしておきたいと思っていることをだれになら話せると思うか、具体的な人を思い浮かべてみるとよいことを伝える。 ・ワークシート②に記入させる。 ・今の自分自身のことを考えて、素直に答えればよいことを伝える。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「性の多様性を尊重する」ことについて考えよう。 </div>	
展開	2 友達から性自認について相談されたときのことを考える。	

40分	<p>T 友達から「性別に違和感がある」と打ち明けられたら、まず何と声をかけるか考えましょう。</p> <p>S 突然のことに驚いてしまい、何とも言えない。</p> <p>3 「カミングアウト」「アウティング」について考える。</p> <p>T ワークシート③で考えたことと、学習資料①②の内容を比較しましょう。</p> <p>S 驚くと思うけれども、相手のことを思って話すことができるようにしたい。</p> <p>S 頭では分かったつもりだけれど、実際にそういうことがあったら、自分がどう反応できるかはやはりわからない。</p> <p>T ワークシート③④で考えたことについてグループで話し合しましょう。</p> <p>4 「アライ」について考える。</p> <p>T 「アライ」の取組について知っていることを発表しましょう。</p> <p>S コバトンとさいたまっちの絵があるステッカーを見たことがある。</p> <p>S 具体的な取組などは知らない。</p> <p>T 多様性について「自分に関係のあること」として行動するためにはどうすればよいか考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート③に記入させる。 • 自分ならどのような反応をすると思うか、思ったとおりのことを書けばよいことを伝える。 • 学習資料を配付する。 • リーフレット「3. 性の多様性を尊重しよう」、学習資料①②を基に、「カミングアウト」「アウティング」について説明する。 • ワークシート④に記入させる。 • 自分で思ったこと・考えたことを素直に書けばよいことを伝える。 ◎他の人の考え方・感情を感知するとともに、個人の価値を尊重することができる。 • 正解を考えるということではなく、一人一人の考えを尊重することを伝える。 • リーフレット「4. みんなで『アライ』になろう!」、学習資料③を基に、「アライ」について説明する。 • 「アライ」の取組について例示する。 • ワークシート⑤に記入させる。 • 記入できない生徒には、行動の例を示す。
終末5分	<p>5 振り返り・感想記入</p> <p>T 今日の授業で気付いたこと・感じたことをワークシートに記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート⑥に記入させる。

	<p>S 自分がだれかにカミングアウトされたらと考えると、驚くと思うけれど、話してくれた人のことを考えて対応ができるようにしたい。</p> <p>S 自分も、誰かになにかを相談することを考えて、自分も相談してもらえるように、日頃から人権を意識して行動したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記入できていない生徒には、今日の学習を振り返りながら、今までの自分の言動を考えて、これからどうしていきたいか、ということを考えてみるよう声がけをする。
--	---	--

- 1 あなたは、簡単には人には言えないような自分の大切なことを、どういう人になら相談できると思いますか。

- 2 あなたは、自分自身が相談してもらえる人にあてはまると思いますか。その理由も考えてみましょう。

- 3 あなたは、友達から「性別に違和感がある」打ち明けられたら、その友達に、まず何と声をかけますか。

- 4 「3」での自分の考えと比較して気付いたこと・考えたことを書きましょう。

- 5 多様性について「自分に関係のあること」として行動するためにはどうすればよいか書きましょう。

- 6 今日の授業で気付いたこと・感じたことを書きましょう。

学習資料

①「カミングアウト」「アウトティング」とは

カミングアウトとは、これまで公にしていなかった自分のセクシュアリティを自分の意志で他の人に伝えることです。

カミングアウトは必ずしも行わなければならないことではありません。自分が必要を感じていない場合やカミングアウトをしたいと思っていない場合は、カミングアウトをする必要はありません。

カミングアウトをきっかけに、それまでより生きやすくなることもあります。しかし、十分な理解を得ることができず周囲との関係が悪化するということもあります。カミングアウトをするかしないかを自分で判断できるように知識や情報を得ることが大切です。だれに対して行ったらよいか迷う場合や決意が固まらない場合などは、カミングアウトをする前に専門機関に相談することも一つの方法です。

カミングアウトをするときには、自分のセクシュアリティをただ知っておいてほしいのか、何か困っていることへの対応を望むのかを明確にしておくことも必要です。また、カミングアウトをするときには「いつ、だれに、どんな場面で、どのように」伝えるかをよく考えて実行しましょう。

アウトティングとは、本人の同意なくだれかが第三者にその人の秘密（この場合はセクシュアリティ）を伝えてしまうことです。カミングアウトを受けたときや偶然知ったときなど、他の人の秘密を話してしまわないように注意することが必要です。

②カミングアウトを受けたら

カミングアウトを受けたら、驚きやどう反応してよいかわからずに戸惑うこともあると思います。ただ、相手はもっと緊張して覚悟を持って話しているので、できるだけ落ち着いて、冷静に話を聞くことが大切です。

<対応のポイント>

- ①じっくりと最後まで話を聞く。
- ②「気のせいではないか」「考えすぎではないか」などと決めつけない。
- ③相手の言葉や気持ちをそのまま受け止める。
- ④自分を信頼して打ち明けてくれたことに「ありがとう」と伝える。
- ⑤他にだれに話しているのか、だれになら話せるかを確認する。
- ⑥自分ができることはあるかを確認する。
- ⑦支援につながる情報を調べて伝える。

*このポイントを参考にして、自分にできることを考えてみましょう。

③「アライ」とは

アライ (ALLY)とは、LGBTQが直面する社会的課題が自分たちみんなの問題であることを理解し、解決に向けて積極的に活動したい、支援したいと考えている人のことです。

多様性への理解が深く、例えばLGBTQが笑いの対象とされた場面で注意できるこ

とは当事者にとっては心強い存在となります。性の多様性のシンボルとしてレインボーグッズを身につけることで、自分はアライであるということを表明している人もいます。最近では多くの企業がLGBTQに配慮した環境や制度の整備などを進めています。自分の知っている企業がどのような取組をしているのかを調べてみると、社会的な関心の高さを実感できるかもしれません。